実施計画書

文部科学省初等中等教育局長 殿

住所 埼玉県入間郡越生町上野東1-3-2
管理機関 学校法人一川学園
代表者名 理事長 一川 高一

1 管理機関

①管理機関 (市区町村・都道府県)

ふりがな	おごせまち
管理機関名	越生町
代表者職名	町長
代表者職名	新井 康之

②管理機関 (産業界) ※2団体以上ある場合は、適宜、欄を追加して記入してください。

ふりがな	ひがしにほんでんしんでんわがぶしきがいしゃさいたまじぎょうぶさいたまにししてん
管理機関名	東日本電信電話会社埼玉事業部埼玉西支店
代表者職名	支店長
代表者氏名	丸山 猛

③管理機関 (学校設置者)

ふりがな	がっこうほうじんいちかわがくえん
管理機関名	学校法人一川学園
代表者職名	理事長
代表者職名	一川 高一

2 指定校名

学校名 清和学園高等学校
学校長名 一川 高一

3 事業名 「レジリエントな町と産業を支えるニューノーマル時代のSX人材養成モデルの構築」

4 事業概要

近年 ICT(情報通信技術)やIoT(モノのインターネット)が急速に発展・普及し産業構造が目まぐるしく変化する中、本校は、通信制高校でありながら、全国唯一の国家資格が取得可能な学校であり、工業(自動車科)・家庭(調理科)を有する専門高校に匹敵する新しいスタイルの高等学校である。

越生町は、埼玉県一の「梅・ゆず」の生産地であるが、この地域産業に関する持続性・継続性が大きな課題の一つである。①梅・ゆず農家の高齢化・後継者不足、②梅・ゆず販売単価の低減化。豊かな自然環境を背景に観光振興策の一つとして全国初の「ハイキングの町」宣言しているが、成果指数は目標値に届いていない。これらの課題に対し、観光資源の有効活用と農産物の元々持っている価値を更に高め、生産性の価値を上げる食品加工(2次産業)流通・販売(3次産業)に取り組み、栽培から収穫、加工、流通・販売といった「梅・ゆず」農家の一連のビジネスバリューチェーンの作業毎に、生徒ならではの新鮮な目線でのアイデアを励起し盛り込み、解決に向けての取り組み活動を推進する。

また、6次産業化を目指した取り組み活動を通して、町が掲げる産業振興と観光の町の発信の中で、越生ブランド振興事業の創設や地場産業の振興・町のPRの推進を念頭に、生徒が主体的に自らの視点で、町の課題を見つけ解決する道を共創し、Connected car としてのキッチンカーの製作や環境に配慮したEV車等の研究を進め、学校魅力化やSX人材育成モデルの構築 Sustainability Transformation を掲げて、持続可能な地域活性化に向けた事業を産業界と地域の関係者とが協働し、解決を図ることができる次世代マイスターの育成を行う。

5 学校設定教科・科目の開設，教育課程の特例の活用（□で囲むこと）

- 学校設定教科・科目を開設している
イ 教育課程の特例の活用している

6 事業の実施期間

契約日～7年3月31日

7 令和6年度の実施計画

今年度の実施計画については、

(1)前年度事業の継続とブラッシュアップ

昨年10月からスタートしたプログラミング教育を含めたICT教育の充実を図りながら今年度も調理科・自動車科共に各学年で継続して取り組む。ブラッシュアップとして、授業後のアンケート調査等の回答は全学科 Chromebook で完結できる取り組み活動を更に推進させ定着させる取組活動の実施。調理科では、昨年2年生が取組んだ「チョコレートプロジェクト」を更に発展させ、新商品開発に向けての研究開発を推進していく。また3年生が試作品として取組んだ越生町の特産物である「梅」・「ゆず」を料理の全てに使用し和食を中心とした高齢者向けの「ワンプレートランチ」を今年度は教職員や近隣の高齢者にも提供ができる調理技術の向上も図る。「生活産業基礎」・「生活産業情報」の科目を中心に「ライフスタイルの変化に対応した商品」サービスの企画開発及び販売を通して原価計算の仕組みを学ばせ画像処理を含めたポスター制作まで可能になるような取組活動の実施。特に昨年度の夏休みの課題として全校生徒に「越生町を知る」をレポートさせることからのスタートであったが、今年度については、生徒が知った越生町の現状から具体的な課題を生徒自ら主体的に考えていく活動を推進する。また1年生では、家庭基礎の「生活をデザインする」を中心に特に地域資源の活用と題して、3年後の越生町の梅まつりに新商品の開発を含めて出店計画、アントレナーシップ教育を見据えながら、社会で求められている「社会人基礎力」特に新しいことへ踏み出す力の養成に力点を置く。

(2)学科横断的なモノづくりの実践

学科横断的なモノづくりの一環として、Connected car として活用できるキッチンカー

の製作と調理科として何を販売できるかを生徒に検討させながら、営業許可に向けた保健所等への申請書類の作成・提出までが可能になるような自動車科・調理科との横断的な取組活動も推進する。また越生町は「ハイキングの町」を宣言している他に近隣の自治体と連携して「ゼロカーボンシティ」を宣言している自治体でもある。CGキャラ(越生のマスコットうめりん)を使用しての観光案内やドローンを活用した取組の推進。

新たな取組として通常の車のエンジン部分をEVに寄せ換えることによりEV車として走行できる新しい技術にも着目していく。自動車科は、併設する越生自動車大学校との高専連携による強みを最大限活用して、7年一貫教育が可能なことから、「社会人基礎力」の「考えの抜く力」を身に付けさせられるよう、EV車等の研究を進めていきながら、「ハイキングの町」・「ゼロカーボンシティ宣言の町」で生徒が主体的に考え抜く力を模索する取組活動を展開していく。

(3)企業連携組織の構築

マイスター・ハイスクール事業の中にも謳われている地域産業支援コンソーシアムをベースに、近隣企業との連携組織を充実させながら、双方にメリットのある組織作りと進路ガイダンス等の折に企業連携の利点を保護者にも理解していただける取組活動の推進を図る。

(4)事業理念の普及と展開

越生町という狭い地域だけでなく、生徒が通学している広範囲の中学校の教員にも生徒募集を絡めての説明する機会を増やし、マイスター・ハイスクール事業の普及を図っていく。また、通信制高校という一面から、様々な特性を持って入学してくる生徒も多いことから、特別支援学校の教員・高等学校の教員・更には、産業教育関係者にも普及活動を進めていく。また、地元越生町のイベント等にも生徒を積極的に参加させる取組活動の推進。

当初の計画では、2年目には学校設定科目をいくつか用意していくことを検討していたが、通信制高校という、自由さと国家資格が取得可能という面での時間数の制約の両面を持っていることから、校内での検討の結果、現状の金曜日午後3時間自動車科・調理科の補習日となっている時間を「マイスター・ハイスクール日」と設定することや、生徒の選択制による授業展開。また希望者による課外授業制度を導入することにより、今年度は、教育課程の変更は行わず、現行の教育課程の中で実施する。

<添付資料>

- ・ 令和6年度教育課程表

8 事業実施体制

意思決定機関の体制 (マイスター・ハイスクール運営委員会)

氏名	所属・職
大野 松茂	埼玉県産業教育振興会・顧問
新井 康之	越生町・町長
山本 信一	飯能信用金庫越生支店・支店長
長島 祥二郎	越生町商工会・会長
島野 博行	越生町観光協会・会長
市川 剛士	埼玉県商工会青年部連合会・元会長
一川 高一	清和学園高等学校・校長

事業実行機関の構成（マイスター・ハイスクール事業推進委員会）

氏名	所属・職
村上 達則	事業推進委員長・マイスター・ハイスクール CEO
丸山 猛	東日本電信電話株式会社埼玉西支店・支店長
阿部 将永	株式会社タカインフォテクノ副社長
横田 恵嗣	越生町産業観光課・課長
松浦 俊太郎	越生町教育委員会学務課・課長
磯田 厚子	女子栄養大学 名誉教授
大室 智史	日本薬科大学・講師
一川 高一	清和学園高等学校・校長

9 課題項目別実施期間

業務項目	実施期間（令和6年4月1日～令和7年3月31日）											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
① 前年度事業の継続とブラッシュアップ												
② 学科横断的なモノづくりの実践												
③ 企業連携組織の構築												
④ 事業理念の普及・展開												
運営委員会		○				○					○	
推進委員会			○				○				○	

10 知的財産権の帰属

※いずれかに○を付すこと。なお、1. を選択する場合、契約締結時に所定様式の提出が必要となるので留意すること。

() 1. 知的財産権は受託者に帰属することを希望する。

(○) 2. 知的財産権は全て文部科学省に譲渡する。

11 再委託の有無

再委託業務の有無 有 ・ 無

12 所要経費

別添のとおり

※課税・免税事業者： 課税事業者・免税事業者 (□で囲むこと)